



PN 262 遠近法
キャンバスにアクリル絵具
160×207cm
2012年



PN 267 遠近法 (Chess)
キャンバスにアクリル絵具
162×130cm
2012年

遠近法は平面に立体を可視化するために作られた、絵画表現においても重要な理論である。この方法で「西洋」絵画は、目の前にある物質を濃密な絵画空間に仕上げ、人と共有し永遠を求めた。時代が下り絵画表現の範疇が広がり空間の意識が変化し、遠近法を捨て去っても、視覚刺激による絵画の原理は変わらない。優れた消化吸収能力を持つ極東の小民族が、絵画のあり方、美術の概念を変える事が出来ないはどうしてだろうか。